

コロナ禍での 孤立・孤独 生きづらさと 社会福祉実践

2020年をはじめ頃から蔓延し始めた新型コロナウイルス感染症は、度重なる緊急事態宣言の発出や一斉休校等の措置に代表されるように社会生活を営む一人ひとりの日常に大きな影響を及ぼしている。感染予防が主軸となるコロナ禍においては、人との接触をできる限り抑えることが重視されたため、オンラインによる活動の普及等によって新たな生活のあり方やつながり方が生まれた。その一方で、日常生活における社会的なつながり方の変化により、家族内の虐待、女性の自死をはじめ、孤独や孤立といったように顕在化された問題や見えてきた社会福祉の対象となる人の課題がある。このように権利が享受できない「マイノリティ」は、さらなる分断が生まれている。

コロナ禍において見えてきた孤立・孤独や生きづらさといった困難さに社会福祉実践はどう向き合っているのだろうか。本シンポジウムでは、社会福祉実践をとらえて新たなつながりを議論したい。

どなたでもご参加いただけます

参加費
無料

どなたでもご参加いただけますが、
事前申し込みをお願いします。

要約筆記あり

日時

2022年

4月16日(土) 13:00~16:30
(12:30受付開始)

会場

zoomを用いた
オンライン方式

記念講演

『公的おせっかい』による つながりの創出 近藤 直子さん 【日本福祉大学名誉教授】

講師プロフィール

1950年生まれ。NPOあいち障害者センター理事
長。日本福祉大学名誉
教授。全国発達支援通
事業連絡協議会会長。



パネルディスカッション

パネリスト

- 「コロナ禍でのひきこもりと8050問題」 鈴木美登里さん(NPO法人「オレンジの会」理事)
- 「コロナ禍での女性の孤立-DV支援の現場から」 富田正美さん(元母子生活支援施設施設長)
- 「コロナ禍での地域福祉活動-地域のつながりと希望を紡ぐ-」 前山憲一さん(半田市社会福祉協議会事務局次長)

コーディネーター

宇都宮 みのりさん(愛知県立大学教授)

申込方法

右のQRコードまたは下のURLにアクセスし、
申込フォームでお申し込みください。

4月9日(土)
締め切り

申込フォームURL

<https://forms.gle/zhJz1ocRthFc3xyY7>



問合せ先

日本社会福祉学会中部地域ブロック部会担当理事・
谷口由希子(名古屋市立大学大学院)

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
e-mail:tyukiko@hum.nagoya-cu.ac.jp

本シンポジウムは、日本社会福祉学会中部地域ブロック部会春の研究例会の一環として開催するものです。午前中には院生・若手研究者のための勉強会もあり、
会員以外の方も参加可能です。詳細は一般社団法人日本社会福祉学会ウェブサイトの中部地域ブロックのページをご覧ください。